

ニセコ町 国際交流新聞

★スイスの春祭り「セッヘセロイテン」★

スイスの都市チューリッヒでは、春の始まりを「セッヘセロイテン」という特別な祭で迎え、寒く長かった冬を見送ります。「セッヘセロイテン」は、ドイツ語で「6時に鳴っている鈴」を意味し、例年の4月の3週目の日曜日と月曜日に行われています。しかし、今年はイースターと重なったため、4月28日に祝われました。

「セッヘセロイテン」の日曜日には、伝統的な服装を着て子供のパレードが、月曜日には、チューリッヒで長い歴史のある商工業者の同業組合が参加するパレードも行われます。この同業組合の中には、14世紀に設立されたものもあります。当時、同じ商売をしていた職人が共通の利害を守るため団結して、権利を主張し、強い影響力を持つようになりました。今日では、もう特別な権利を持っていませんが、伝統を守る組合としてチューリッヒの中で重要な地位を占めています。



「セッヘセロイテン」の目玉は、パレードの終わる頃18時ちょうどに、冬を象徴する雪だるまを燃やすことです。

町中の広場に薪の山を作り、その上に雪だるまを置いて、火を付けます。雪だるまの中には、爆発させるためのものが入っていて、雪だるまの頭が爆発するまでの時間によって、夏の気候がわかると言われています。早く爆発すると、よい夏になりますが、爆発するまでに時間がかかると、湿った寒い夏になると言われています。雪だるまが燃えた後、観客はその場でソーセージを焼くなどバーベキューし、遅くまで楽しく交流します。

当初「セッヘセロイテン」は、春分後の最初の月曜日に祝われていましたが、1952年からこの日程で祝われるようになりました。「セッヘセロイテン」のパレードには、古い商工業者の同業組合のメンバーしか参加できませんが、5月1日に祝われている「メーデー」のパレードには、誰でも参加できます。そのため、「メーデー」のグループは、パレードの参加者を限定することを不公平だと考えていました。

また、2つの祝日が近いことから、様々な事件が起こっています。2006年、「セッヘセロイテン」の雪だるまが「メーデー」のグループに盗まれてからは、「セッヘセロイテン」の実施者は、念のため予備の雪だるまを用意するようになりました。

(ロミー ベール、スイス出身)



国際交流員による世界に出会える文化イベント
その20
「**疲れから目を守る～目の体操**」
♪日付: 2014年5月28日 水曜日
♪時間: 15:00～16:00
♪場所: あそぶつく コミュニティールーム
中国の国際交流員と一緒に、目の体操をしませんか?
目の周りをマッサージして、目を疲れから守りましょう!

ニセコ町国際交流員のラジオニセコ番組「世界の耳へ」
毎週金曜日 15時～15時50分
♪5月9日 羅 宇晴
「中国の都市シンセンの中学校」
♪5月16日 權 珠賢
「マカオの魅力」
♪5月23日 エレノア ワイリー
「イギリスの一番人気がある神話とは？」
76.2 MHz 

